

## 高尾山の自然・ムササビ観察会

※11月11日(土)

12月23日(土)

1月20日(土)

**の観察会当日に配布する資料です。**

**タイムスケジュールや持ち物等ご確認ください。**

**申込方法** [電子申請](#) (リンクになっています) 又は 往復はがき

**申込締切**

○電子申請の場合 11月11日(土)分…9月1日(金)～10月13日(金)が募集期間  
12月23日(土)分…10月16日(月)～11月24日(金)が募集期間  
1月20日(土)分…11月27日(月)～12月15日(金)が募集期間  
※ 申請方法の詳細は上記リンク先 東京都教育委員会 HP に掲載されています。

○往復はがきの場合 11月11日(土)分…10月13日(金)必着  
12月23日(土)分…11月24日(金)必着  
1月20日(土)分…12月15日(金)必着

往復はがき に ①住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号 ⑤希望日時を記入の上、以下へお送りください。

【 送り先 】

〒190-8583 東京都立川市泉町935-4  
東京都立砂川高等学校 経営企画室 公開講座担当

※ 申込多数の場合は抽選となります。

【お問合せ先】 東京都立砂川高等学校 経営企画室 公開講座担当

電話：042(537)4611

## 1. タイムスケジュール（予定）

- 14：00 高尾山口駅 集合・点呼  
講師紹介
- 14：10 高尾599ミュージアム 到着・見学  
ムササビの生態・観察法解説
- 15：10 ケーブルカーへ移動
- 15：15 ケーブルカー乗車
- 15：21 高尾山駅到着
- 15：50 薬王院到着  
ムササビ観察場所の説明  
休憩
- 16：30 日の入り・ムササビ観察開始
- 17：30 1号路から下山しながらムササビ観察
- 19：00 高尾山口駅 解散予定

※ 小雨決行です。荒天中止の場合もあり。

## 2. 目的

- ① 高尾山の森の様子と野鳥・植物の観察
- ② ムササビの観察

## 3. 持ち物

- ・懐中電灯
- ・記録用具（筆記用具など）
- ・飲み物
- ・軽食
- ・動きやすい服装
- ・寒くなった時に着るアウター、インナー類
- ・履きなれた動きやすい靴
- ・雨具（急な雨に備えて折りたたみ傘など）
- ・防寒具（マフラー、手袋など。例年、夜はかなり冷え込みます）



## <植物の観察>

### ① 高尾山の樹木

高尾山ではスギとヒノキが植林されています。また、スギ、ヒノキ以外にモミ、イヌガヤ、カヤの3種類の針葉樹が目立ちます。これらの樹木はムササビをはじめ高尾山に生息する多くの動物の生活の基盤となっています。観察してみましょう。あとはドングリもよく落ちています。ドングリは一般的にブナ科の堅果の総称です。どんな種類があるのか探してみましょう。

#### 観察できる樹木一例

- ・スギ
- ・ヒノキ
- ・モミ
- ・イヌガヤ
- ・カヤ
- ・アラカシ
- …など

### ② 果実

高尾山を散策していると今の時期は赤い果実が目立ちます。また、赤以外にも紫や紺色の果実があります。足元をみながら探してみましょう。

#### 観察できる果実一例

- ・イイギリ（赤）
- ・ナンテン（赤）
- ・ヤブコウジ（赤）
- ・マンリョウ（赤）
- ・ミヤマフユイチゴ（赤）
- ・ミヤマシキミ（赤）
- ・アオキ（赤）
- ・ムラサキシキブ（紫）
- ・ヤブムラサキ（紫）
- ・ヤブミョウガ（紺）
- ・ジャノヒゲ（紺）
- …など

### ③ 風散布型の種子

白い綿毛を付けた風散布型の種子もよく見かけます。見つけて観察してみましょう。

#### 観察できる種子一例

- ・キジョラン ← キジョランの葉の裏にはアサギマダラの幼虫がいることがあります
- ・テイカズラ
- ・カシワバハグマ
- ・センボンヤリ
- …など

① セグロセキレイ



② ハクセキレイ



③ キセキレイ



④ エナガ



⑤ シジュウカラ



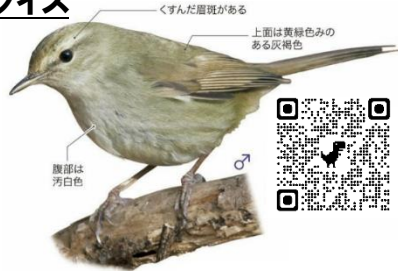
⑥ ヤマガラ



⑦ メジロ



⑧ ウグイス



⑨ コゲラ



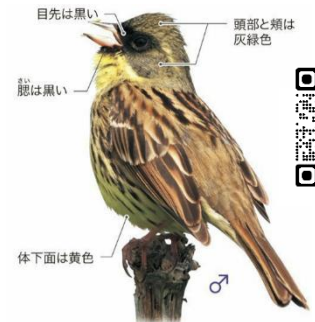
⑩ アオゲラ



⑪ アカゲラ



⑫ アオジ



⑬ カワラヒワ



⑭ ジョウビタキ



⑮ ルリビタキ



16 モズ



17 シメ



18 ウソ



19 ヒヨドリ



20 ムクドリ



21 ツグミ



22 ハシボトガラス



23 ハシボソガラス



24 カケス



25 キジバト



26 ドバト



27 コジュケイ



28 ガビチョウ



29 ソウシチョウ



## <ムササビとは？>

当日に解説しますので、簡単な紹介に留めておきます。

### ① ムササビの分類

ムササビはげっ歯目の仲間です。げっ歯目はネズミ亜目・リス亜目・テンジクネズミ亜目に分けられ、ムササビはリス亜目に分類されます。

### ② ムササビの体のつくり

- ・頭胴長：30～45 センチ
- ・尾長：30～40 センチ
- ・体重：約1 キログラム

### ③ ムササビの出巢

ムササビは夜行性の動物です。そのため、昼間は巣穴で眠り、夜間に巣穴から出てきます。観察するときはこの巣穴から出る時間帯を狙います。出巢する時間は正確で、どの日も日の入りから約30分で出巢します。

## <ムササビの見つけ方>

ムササビの見つけ方のポイントをまとめておきます。

### ① フィールドワーク

明るいうちにムササビの痕跡を探しておくとうムササビがいるかどうかの確認ができます。

- ・糞：正露丸くらいの大きさ
- ・食痕：枝の切り口や葉のかじった痕が特徴的
- ・樹洞：定期的に使っている樹洞は穴の入り口がケバ立ったりテカテカしている。ムササビは樹洞の直径が8センチ以上あれば入れる。

### ② 観察方法

#### ◎ 出巢の観察

日没の時間あたりから樹洞の付近で待機する。そして日の入り後30分あたりでムササビの顔出しの確認をして滑空するまで待つ。顔出しの確認は赤ライトで行う。ただし、赤ライトの照射は必要最小限に抑える。

#### ◎ 赤ライトの使い方

姿を照らして見つけるのではなく、目の反射で見つけます。ムササビの網膜の奥にはタペタムという反射板があり、それがライトの光を反射します。それを見つめるためにライトは目のすぐ横にもってきて使いましょう。

また、赤ライトは通常の白いライトよりはムササビにとって眩しくないと言われていますが、やはりそれでも眩しいはず。そのため、以下のルールで使います。

1. 出巢の確認は光を手で覆って使う
2. 中央の光でなく周囲の光を当てる
3. 1度ライトを当てたら次に当てるまで10秒以上あける

◎ 音での観察

ムササビは活動時に様々な音を立てます。樹状のガサガサ・ポリポリ、鳴き声、着地の音など。まずは音で見つけるようにしましょう。

• 樹上のガサガサ・ポリポリ

樹状でのこれらの音は9割ムササビです。他はハクビシンなどのこともあります。

• 鳴き声

グルルーグルルーと鳴くことが多いです。この鳴き声がしたらムササビが近くにいます。

• 着地の音

木から木に滑空で移動して着地したときの音は「カチッ」と結構大きな音がします。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

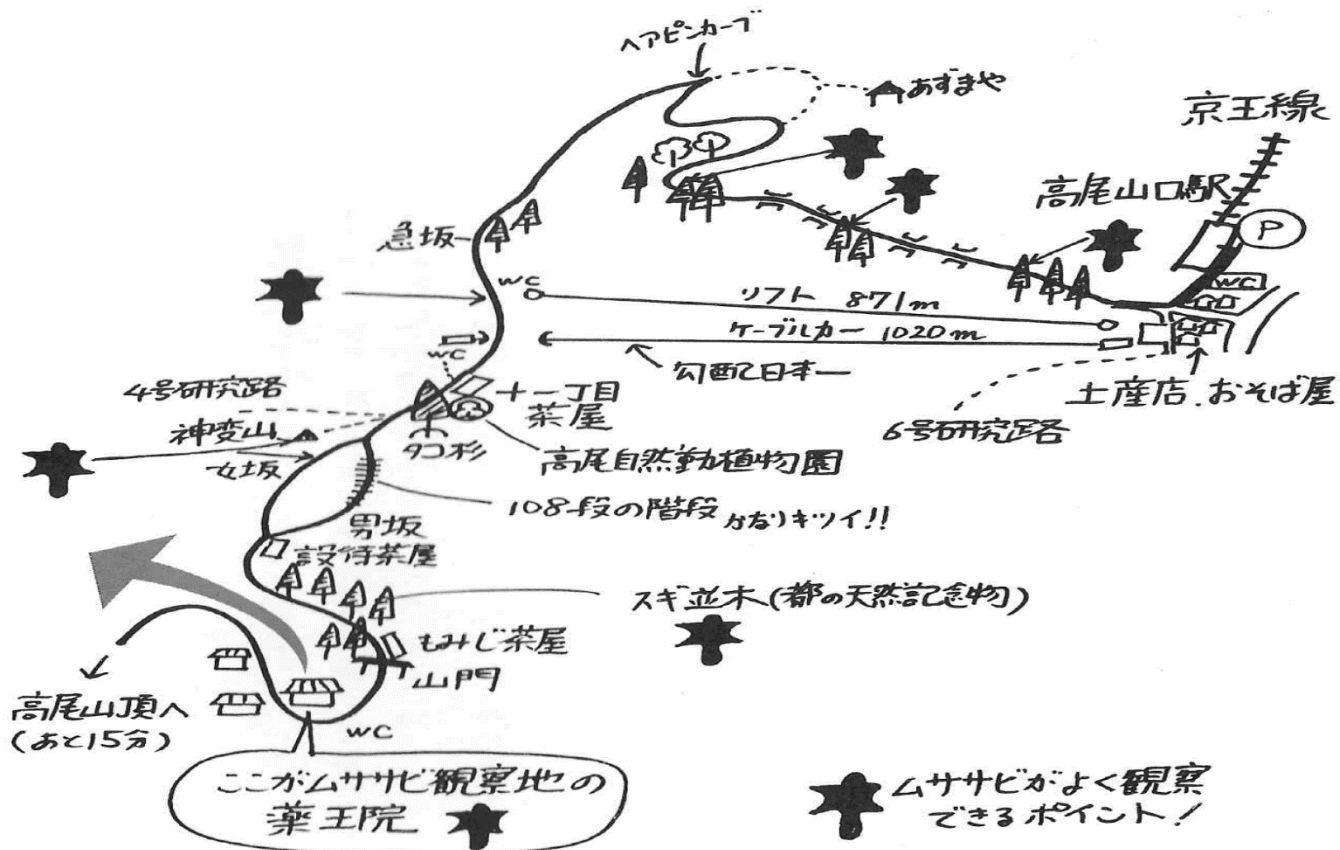
.....

.....

.....

.....

# 高尾山ムササビ観察マップ



## 高尾山薬王院

